

第7章 地区別カルテ

1 地区別の現況

「草加市都市計画マスタープラン」の地区別方針の記載内容を基に10地区の現況を整理しました（一部改変あり）。

1-1 新田西部地区



地区の概況

●市の北西部に位置し、低層住宅地を中心とした地区です。 ●地区内には、国道4号線と外環状道路が通過しており、これらによって地区やコミュニティが分断されており、まちづくりや課題などにも大きな違いがあります。 ●平成28年（2016年）の人口は40,000人強、世帯数は約18,000世帯弱、市内でも人口・世帯の減少や少子高齢化が早く進む地区と推計されます。	【課題】 ●高年者の買い物難民になることや自宅への閉じこもりになることを予防するために、高年者の生活環境を整える必要があります。 ●高年者の増加にあわせて高年者向け施設の確保をしていく必要があります。 ●戸建住宅が中心の地区のため、高年者単身世帯や高年者夫婦のみ世帯の増加に伴う住宅のミスマッチが発生する可能性があります。
---	--

人口・世帯等の現状と将来予測 【2016年調査時点】

	2016年	2035年(推計値)	増減率(2016→2035)
人口	40,421	34,530	-14.6%
高年者人口	9,803	10,543	7.5%
年少人口	5,422	3,651	-32.7%
世帯数	17,691	15,931	-9.9%
介護保険要支援 要介護認定者数	1,031	1,609	56.1%

地域資源

人的資源 町会・自治会 13 組織 町会・自治会加入率 55.9%、NPO 法人 2 団体

地区社協

地区	地区社会福祉協議会名	発足	各年度末	会長	副会長	運営委員	行事委員	福祉委員	啓発委員	会食担当	レクリエーション部※	福祉協力員	延べ人数	ブロック
新田西部	新田地区	H4. 9	平成28年度	1	3	19	18	23	16	157		43	280	
			平成29年度	1	3	19	18	21	16	156		43	277	
			平成30年度	1	2	18	16	20	16	141		44	258	

1-2 新田東部地区



地区の概況

- 市の北部に位置し、越谷市に隣接しています。
- 地区内には、東西方向に外環状道路が通過しています。また、地区の南部には草加八潮工業団地があります。
- 平成28年（2016年）の人口は32,000人弱、世帯数は14,000世帯強、人口は減少に向かうものの、世帯数は20年後も増加する見込みです。

【課題】

- 既存の施設の機能転換を図るなど、高年者の増加にあわせて高年者向け施設を確保していく必要があります。
- 高年者が買い物難民になることや自宅への閉じこもりになることを予防するために、高年者の生活環境を整える必要があります。
- 地域における見守り・支え合いの体制を整える必要があります。

人口・世帯等の現状と将来予測 【2016年調査時点】

	2016年(近況)	2035年(推計値)	増減率(2016→2035)
人口	31,715	29,757	-6.2%
高年者人口	7,217	8,592	19.1%
年少人口	4,124	2,960	-28.8%
世帯数	14,393	14,852	3.2%
介護保険要支援 要介護認定者数	736	1,266	72.0%

地域資源

人的資源

町会・自治会 16 組織 町会・自治会加入率 59.6%、NPO 法人 10 団体

地区社協

地区	地区社会福祉協議会名	発足	各年度末	会長	副会長	運営委員	行事委員	福祉委員	啓発委員	会食担当	レクリエーション部会	福祉協力員	延べ人数	ブロック
新田東部	草加東部地区	H7. 2	平成28年度	1	9	28	8	8	9			44	107	5
			平成29年度	1	10	25	8	7	9			43	103	5
			平成30年度	1	9	23	8	8	8			42	99	5
	新田東部地区	H7. 3	平成28年度	1	4	16	23	31	12			0	87	4
			平成29年度	1	4	17	20	23	8			0	73	4
			平成30年度	1	4	17	20	24	8			0	74	4

1-3 草加川柳地区



①草加川柳地区（市街化区域）

地区の概況

- 市の北東部に位置し、東は八潮市に隣接しています。
- 地区内には、外環状道路が地区の東西を横断しており、地区やコミュニティが分断されています。
- 平成28年（2016年）の人口は約16,500人、世帯数は7,000世帯弱、市内でも少子高齢化の進行が比較的早い地区です。

【課題】

- 高年者が買い物難民になることや自宅への閉じこもりになることを予防するために、高年者の生活環境を整える必要があります。
- 既存の施設の機能転換を図るなど、高年者の増加にあわせて高年者向け施設を確保していく必要があります。
- 地域における見守り・支え合いの体制を整える必要があります。

人口・世帯等の現状と将来予測 【2016年調査時点】

	2016年(近況)	2035年(推計値)	増減率(2016→2035)
人口	16,524	14,788	-10.5%
高年者人口	3,831	3,878	1.2%
年少人口	2,578	1,559	-39.5%
世帯数	6,658	5,933	-10.9%
介護保険要支援 要介護認定者数	370	618	67.0%

地域資源

人的資源

町会・自治会6組織 町会・自治会加入率61.9%、NPO法人1団体



②草加川柳地区（市街化調整区域）

地区の概況

- 市の北東部に位置し、北は越谷市、東は吉川市、南は八潮市に隣接し、越谷レイクタウンにも至近の位置にあります。
- 地区の南北を東埼玉道路が通過しており、都心へのアクセスが良く、土地のポテンシャルの高い地区です。
- 人口も世帯も、全地区の中で最も高い割合で減少する地区です。また高年者人口は全地区の中で一番高い割合で、年少人口も比較的高い割合で減少する地区です。

【課題】

- 少子化が進んでいく可能性があります。
- 人口減少や人口構成の変化にあわせて、既存施設の機能転換などを検討する必要があります。
- 将来的な空き家の発生リスクが高いです。

人口・世帯等の現状と将来予測 【2016年調査時点】

	2016年	2035年(推計値)	増減率(2016→2035)
人口	2,070	1,475	-28.7%
高年者人口	696	455	-34.6%
年少人口	218	149	-31.7%
世帯数	1,018	590	-42.0%
介護保険要支援 要介護認定者数	66	77	16.7%

地域資源

人的資源 町会・自治会1組織 町会・自治会加入率47.4%、NPO法人1団体

地区社協

地区	地区社会福祉協議会名	発足	各年度末	会長	副会長	運営委員	行事委員	福祉委員	啓発委員	会食担当	レクリエーション部会	福祉協力員	延べ人数	ブロック
草加川柳	川柳地区	H6.4	平成28年度	1	7	37	20	26	10				101	
			平成29年度	1	7	38	20	25	10				101	
			平成30年度	1	7	39	20	25	12				104	

1-4 草加安行地区



地区の概況

- 市の西部に位置し、西は川口市に隣接し、地区内には獨協大学前＜草加松原＞駅が立地です。
- 地区の中央を南北に国道4号線が通過しており、その東側は草加松原団地や獨協大学が立地する集合住宅中心のエリア、西側は戸建住宅を中心とするエリアです。国道4号線を挟んでまちの様相に違いが見られます。
- 草加松原団地は現在、建替事業が進行中であり、市内で唯一、人口増加が見込まれる地区です。
- 若年層を中心とした転入者が増加することが想定されることから、多世代交流のモデル地区としての発展が期待されます。

【課題】

- 高年者が買い物難民になることや自宅への閉じこもりになることを予防するために、高年者の生活環境を整える必要があります。
- 既存の施設と調整を図りつつ、高年者の増加にあわせて高年者向け施設を確保していく必要があります。
- 地域における見守り・支え合いの体制を整える必要があります。

人口・世帯等の現状と将来予測 【2016年調査時点】

	2016 年	2035 年(推計値)	増減率(2016→2035)
人口	31,469	35,706	13.5%
高年者人口	8,844	9,628	8.9%
年少人口	3,946	4,045	2.5%
世帯数	14,355	16,634	15.9%
介護保険要支援 要介護認定者数	1,000	1,541	54.1%

地域資源

人的資源 町会・自治会 14 組織 町会・自治会加入率 55.5%、NPO 法人 8 団体

地区社協

地区	地区社会福祉協議会名	発足	各年度末	会長	副会長	運営委員	行事委員	福祉委員	啓発委員	会食担当	レクリエーション部会	福祉協力員	延べ人数	ブロック
草加安行	安行地区	H4. 8	平成28年度	1	3	16	17	22	13	0		79	151	9
			平成29年度	1	3	17	20	21	13	0		81	156	9
			平成30年度	1	3	17	20	21	13	0		82	157	9
	松原地区	H7. 10	平成28年度	1	3	14	8	8	8	0		2	44	6
			平成29年度	1	3	14	8	7	8	0		2	43	6
			平成30年度	1	3	14	8	7	8	0		2	43	6

1-5 草加西部地区



地区の概況

- 市中央の西部に位置し、西は川口市に隣接しています。
- 地区内を南北方向に幹線道路である国道4号線が通過しており、地区が東西に分断されています。
- 平成28年（2016年）の人口は28,000人強、世帯数は14,000世帯弱、駅前の利便性の高さから単身世帯の占める比率が高い地区です。自治会の組織率の低下など、将来的なコミュニティの維持に懸念のある地域です。

【課題】

- 高年者が買い物難民になることや自宅への閉じこもりになることを予防するために、高年者の生活環境を整える必要があります。
- 既存の施設の機能転換を図るなど、高年者の増加に合わせて高年者向け施設を確保していく必要があります。
- 地域における見守り・支え合いの体制を整える必要があります。

人口・世帯等の現状と将来予測 【2016年調査時点】

	2016年	2035年(推計値)	増減率(2016→2035)
人口	28,334	27,526	-2.9%
高年者人口	6,179	6,819	10.4%
年少人口	3,519	2,833	-19.5%
世帯数	13,563	14,898	9.8%
介護保険要支援 要介護認定者数	702	981	39.7%

地域資源

人的資源 町会・自治会 13 組織 町会・自治会加入率 44.0%、NPO 法人 10 団体

地区社協

地区	地区社会福祉協議会名	発足	各年度末	会長	副会長	運営委員	行事委員	福祉委員	啓発委員	会食担当	レクリエーション部会	福祉協力員	延べ人数	ブロック
草加西部	草加西部地区	H6. 3	平成28年度	1	2	24	14	18	8	0		159	226	10
			平成29年度	1	2	21	13	15	8	0		162	222	10
			平成30年度	1	2	20	15	15	8	0		161	222	10

1-6 草加東部地区



地区の概況

- 市中央部の東側に位置し、東は八潮市に隣接しています。
- 草加駅東口には市内最大の商業業務施設が集積し、また、旧日光街道沿いの旧町地区には古い建築物なども残っています。かつての草加宿の面影を感じさせる地区です。
- 平成28年（2016年）の人口は28,000人強、世帯数は13,000世帯強、市内でも少子高齢化の進行が遅い地区です。

【課題】

- 高年者が買い物難民になることや自宅への閉じこもりになることを予防するために、高年者の生活環境を整える必要があります。
- 既存の施設の機能転換を図るなど、高年者の増加に合わせて高年者向け施設を確保していく必要があります。
- 地域における見守り・支え合いの体制を整える必要があります。

人口・世帯等の現状と将来予測 【2016年調査時点】

	2016年	2035年(推計値)	増減率(2016→2035)
人口	28,338	27,279	-3.7%
高年者人口	5,586	6,771	21.2%
年少人口	3,655	3,010	-17.6%
世帯数	13,132	13,423	2.2%
介護保険要支援 要介護認定者数	693	884	27.6%

地域資源

人的資源

町会・自治会 24 組織 町会・自治会加入率 55.1%、NPO 法人 5 団体

地区社協

地区	地区社会福祉協議会名	発足	各年度末	会長	副会長	運営委員	行事委員	福祉委員	啓発委員	会食担当	レクリエーション部会	福祉協力員	延べ人数	ブロック
草加東部	草加中央地区	H7.3	平成28年度	1	4	34	21	25	10				95	6
			平成29年度	1	4	33	21	21	11				91	6
			平成30年度	1	5	35	20	21	11				93	6

1-7 草加稲荷地区



地区の概況

- 市の東部に位置し、八潮市に隣接しています。
- 南北方向の道路として県道越谷八潮線が、東西方向の道路として県道浦和流山線が通っており、工業団地があることからトラックなどの業務交通が多くなっています。
- 平成28年（2016年）の人口は約9,100人、世帯は約4,000世帯、市内でも人口減少、少子高齢化の進行が早く進むとみられている地区です。

【課題】

- 高年者が買い物難民になることや自宅への閉じこもりになることを予防するために、高年者の生活環境を整える必要があります。
- 地域における見守り・支え合いの体制を整える必要があります。
- 市内でも空き家発生リスクが高いです。

人口・世帯等の現状と将来予測 【2016年調査時点】

	2016年	2035年(推計値)	増減率(2016→2035)
人口	9,160	6,838	-25.3%
高年者人口	2,099	2,128	1.4%
年少人口	1,270	698	-45.0%
世帯数	3,929	3,234	-17.7%
介護保険要支援 要介護認定者数	203	312	53.7%

地域資源

人的資源

町会・自治会7組織 町会・自治会加入率56.7%、NPO法人5団体

地区社協

地区	地区社会福祉協議会名	発足	各年度末	会長	副会長	運営委員	行事委員	福祉委員	啓発委員	会食担当	レクリエーション部会	福祉協力員	延べ人数	ブロック
草加稲荷	稲荷地区	H4. 6	平成28年度	1	6	27	17	19	7	24			101	4
			平成29年度	1	6	27	16	18	7	24			99	4
			平成30年度	1	6	29	16	19	7	24		0	102	4

1-8 谷塚西部地区



地区の概況

- 市の南西部に位置し、南は足立区、西は川口市に隣接しています。
- 生産緑地が多く残り、みどり豊かな住宅地を中心とした地区となっていますが、県道草加三郷線と県道浦和東京線の沿道には工場や商業施設などが立地しています。
- 平成28年（2016年）の人口は約26,000人、世帯は11,000世帯強、市内でも少子高齢化の進行が遅い地区で、今後20年間の人口減少も僅かとなっています。

【課題】

- 通院などが課題となる可能性があります。
- 高年者が買い物難民になることや自宅への閉じこもりになることを予防するために、高年者の生活環境を整える必要があります。
- 既存の施設の機能転換を図るなど、高年者の増加に合わせて高年者向け施設を確保していく必要があります。

人口・世帯等の現状と将来予測 【2016年調査時点】

	2016年	2035年(推計値)	増減率(2016→2035)
人口	25,987	24,990	-3.8%
高年者人口	6,203	6,602	6.4%
年少人口	3,493	2,734	-21.7%
世帯数	11,139	10,687	-4.1%
介護保険要支援 要介護認定者数	636	998	56.9%

地域資源

人的資源

町会・自治会 9 組織 町会・自治会加入率 55.0%、NPO 法人 3 団体

地区社協

地区	地区社会福祉協議会名	発足	各年度末	会長	副会長	運営委員	行事委員	福祉委員	啓発委員	会食担当	レクリエーション部会	福祉協力員	延べ人数	ブロック
谷塚西部	谷塚西部地区	H4. 11	平成28年度	1	2	25	23	21	15			52	139	7
			平成29年度	1	2	25	23	21	15			52	139	7
			平成30年度	1	2	24	26	20	23			49	145	7

1-9 谷塚中央地区



地区の概況

●市の南部の中央に位置し、南は足立区に隣接し、市の南の玄関口となる谷塚駅が地区内に立地しています。 ●地区の北部には、旧耐震建築物や狭い道路が密集した、市内で最も防災リスクの高いエリアです。 ●平成28年（2016年）の人口は約17,100人、世帯は約8,200世帯、市内でも少子高齢化の進行が早い地区です。駅前ということもあり、単身高年者の比率も高くなると予想されています。	【課題】 ●高年者が買い物難民になることや自宅への閉じこもりになることを予防するために、高年者の生活環境を整える必要があります。 ●既存の施設の機能転換を図るなど、高年者の増加に合わせて高年者向け施設を確保していく必要があります。 ●地域における見守り・支え合いの体制を整える必要があります。
--	---

人口・世帯等の現状と将来予測 【2016年調査時点】

	2016年	2035年(推計値)	増減率(2016→2035)
人口	17,145	14,393	-16.1%
高年者人口	3,911	4,329	10.7%
年少人口	1,992	1,400	-29.7%
世帯数	8,234	7,697	-6.5%
介護保険要支援要介護認定者数	458	638	39.3%

地域資源

人的資源 町会・自治会 12 組織 町会・自治会加入率 48.7%、NPO 法人 4 団体

地区社協

地区	地区社会福祉協議会名	発足	各年度末	会長	副会長	運営委員	行事委員	福祉委員	啓発委員	会食担当	レクリエーション部長	福祉協力員	延べ人数	ブロック
谷塚中央	谷塚地区	H6. 11	平成28年度	1	4	29	26	24	13				97	
			平成29年度	1	4	30	25	25	13				98	
			平成30年度	1	4	26	23	27	11				92	

1-10 谷塚東部地区



地区の概況

- 市の南東部に位置し、南は足立区、東は八潮市に隣接している。市の南の玄関口となる谷塚駅が立地しています。
- 南北方向は県道足立越谷線や県道瀬崎東町線が、東西方向は草加三郷線や草加南通線などが通っています。
- 平成28年（2016年）の人口は約14,700人、世帯は約7,000世帯、市内でも高齢化の進行が早い地区です。

【課題】

- 高年者が買い物難民になることや自宅への閉じこもりになることを予防するために、高年者の生活環境を整える必要があります。
- 既存の施設の機能転換を図るなど、高年者の増加に合わせて高年者向け施設を確保していく必要があります。
- 地域における見守り・支え合いの体制を整える必要があります。

人口・世帯等の現状と将来予測 【2016年調査時点】

	2016年	2035年(推計値)	増減率(2016→2035)
人口	14,715	12,842	-12.7%
高年者人口	3,129	3,942	26.0%
年少人口	1,813	1,297	-28.5%
世帯数	6,946	6,937	-0.1%
介護保険要支援 要介護認定者数	336	560	66.7%

地域資源

人的資源 町会・自治会4組織 町会・自治会加入率64.6%、NPO法人3団体

地区社協

地区	地区社会福祉協議会名	発足	各年度末	会長	副会長	運営委員	行事委員	福祉委員	啓発委員	会食担当	レクリエーション部会	福祉協力員	延べ人数	ブロック
谷塚東部	瀬崎地区	H5.1	平成28年度	1	5	33	19	17	10		12	45	142	4
			平成29年度	1	5	33	22	15	12		9	44	141	4
			平成30年度	1	5	33	22	19	11		7	47	145	4

